

PAT-NO: JP02002045072A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2002045072 A
TITLE: FECES-CATCHING TOOL FOR DOG
PUBN-DATE: February 12, 2002

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUZUKI, KOJI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUZUKI KOJI	N/A

APPL-NO: JP2000234040

APPL-DATE: August 2, 2000

INT-CL (IPC): A01K023/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a feces-catching tool for dog, completely making operation, etc., in which a worker leaning over or transfers the feces to a bag body, etc., one by one unnecessary and capable of adjusting working angle and distance so as to fit to the body height, etc., of the worker and facilitating the aftertreatment.

SOLUTION: This feces-catching tool has a ring body equipped with an engaging means of opening edge of a bag body and provides a holding body in a part of peripheral surface of the ring body in a direction crossing with diameter direction of the above ring body and the above bag body is

made of a plastic
and the above ring body is made of a metal or a plastic and
the above engaging
means is formed as hook body and the above hand grip body
is formed to be
stretchable and the above ring body is linked thorough a
universal ball body to
the hand grip body and a lid body is covered on the bag
body engaged to the
above ring body and an adhesive tape for sealing is
provided in the opening of
the above bag body.

COPYRIGHT: (C) 2002, JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-45072

(P2002-45072A)

(43)公開日 平成14年2月12日(2002.2.12)

(51)Int.Cl.⁷

A 0 1 K 23/00

識別記号

F I

A 0 1 K 23/00

テーマコード(参考)

B

審査請求 未請求 請求項の数9 O L (全 3 頁)

(21)出願番号 特願2000-234040(P2000-234040)

(22)出願日 平成12年8月2日(2000.8.2)

(71)出願人 399040807

鈴木 孝治

埼玉県川口市安行領根岸2884

(72)発明者 鈴木 孝治

埼玉県川口市安行領根岸2884

(74)代理人 100081570

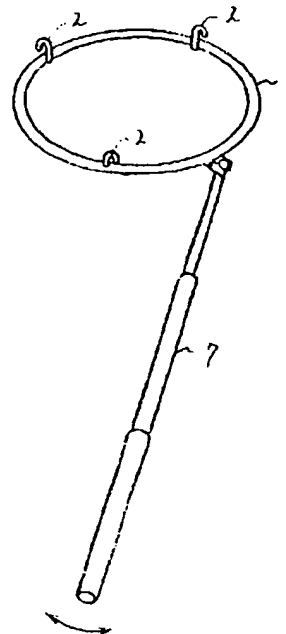
弁理士 佐藤 彰芳

(54)【発明の名称】 犬の糞取り具

(57)【要約】

【課題】 屈み込んだり、一々袋体等へ移し取る作業等を一切不要とし、しかも作業者の身長等に合わせて作業角度や距離も調整し、後処理も容易なものとすることができる犬の糞取り具とする。

【解決手段】 袋体の開口縁に係止手段を備えたリング体を有し、そのリング体の周面の一部に柄体を、前記したリング体の直径方向と交叉する方向に備えていることとし、前記した袋体はプラスチック製のものであることとし、前記したリング体は金属製のものであることとし、前記したリング体はプラスチック製のものであることとし、前記した係止手段はフック体としたこととし、前記した柄体は伸縮自在なものとしたこととし、前記したリング体と柄体はユニバーサルなボール体を介在して接続されていることとし、前記したリング体に係止された袋体には蓋体が被冠されることとし、前記した袋体の開口には封止用の接着テープが備えられていることとする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 袋体の開口縁の係止手段を備えたリング体を有し、そのリング体の周面の一部に柄体を、前記したリング体の直径方向と交叉する方向に備えていることを特徴とする犬の糞取り具。

【請求項2】 前記した袋体はプラスチック製のものであることを特徴とする請求項1に記載の犬の糞取り具。

【請求項3】 前記したリング体は金属製のものであることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の犬の糞取り具。

【請求項4】 前記したリング体はプラスチック製のものであることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の犬の糞取り具。

【請求項5】 前記した係止手段はフック体としたことを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3または請求項4に記載の犬の糞取り具。

【請求項6】 前記した柄体は伸縮自在なものとすることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3、請求項4または請求項5に記載の犬の糞取り具。

【請求項7】 前記したリング体と柄体はユニバーサルなボール体を介在して接続されていることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5または請求項6に記載の犬の糞取り具。

【請求項8】 前記したリング体に係止された袋体には蓋体が被冠されることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5、請求項6または請求項7に記載の犬の糞取り具。

【請求項9】 前記した袋体の開口には封止用の接着テープが備えられていることを特徴とする請求項1、請求項2、請求項3、請求項4、請求項5、請求項6、請求項7または請求項8に記載の犬の糞取り具。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は犬の糞取り具、特にペットとして飼育している犬の散歩中における屋外での排便に際しての糞取り具に関する。

【0002】

【発明の背景】従来より、上記した目的の犬の糞取り具は種々のものが開発、提案されている。その多くのはスコップタイプで、掘り取った犬の糞を収用して持ち帰る袋物の類を別途に用意する。あるいは手袋タイプのもので、その手袋を着装して拾い上げ、やはり袋物等に収用して持ち帰るものとなっている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記した従来の犬の糞取り具はいずれの場合も屈み込む動作が必要となり、作業者に負担をかけることとなる。また、掘り取ったり、拾い上げた糞を袋体等の収用具に入れる作業も必要なものとなっていた。さらには犬の糞が下痢等の軟便状態であった場合、従来の糞取り具では対応が

非常に難しいものとなっていた。

【0004】

【発明の目的】そこで、本発明は上記した従来の実情、問題点に着目してなされたもので、かかる問題点を解消して、屈み込んだり、一々袋体等へ移し取る作業等を一切不要とし、しかも作業者の身長等に合わせて作業角度や距離も調整し、後処理も容易なものとする事ができる犬の糞取り具を提供することを目的としている。

【0005】

10 【課題を解決するための手段】この目的を達成するために、本発明に係る犬の糞取り具は袋体の開口縁の係止手段を備えたリング体を有し、そのリング体の周面の一部に柄体を、前記したリング体の直径方向と交叉する方向に備えていることを特徴とし、前記した袋体はプラスチック製のものであることを特徴とし、前記したリング体は金属製のものであることを特徴とし、前記したリング体はプラスチック製のものであることを特徴とし、前記した係止手段はフック体としたことを特徴とし、前記した柄体は伸縮自在なものとすることを特徴とし、前記したリング体と柄体はユニバーサルなボール体を介在して

20 接続されていることを特徴とし、前記したリング体に係止された袋体には蓋体が被冠されることを特徴とし、前記した袋体の開口には封止用の接着テープが備えられていることを特徴としている。

【0006】

【作用】上記した構成としたことによって、屈み込みもなくワンタッチ作業で軟便も含めて掻き取り、あるいは掘り取ることができ、そのまま装着した袋体で受け、後処理をすることができ、しかも柄体の角度や長さを調整可能として作業者の身長等の体形にも自在に合わせることができる。

【0007】

【発明の実施の形態】次に、本発明の好ましい実施の形態を図面を参照して説明する。図1は本発明を実施した犬の糞取り具を示す全体斜視図、図2は同じく袋体の装着状態を示す正面図、図3は同じく蓋体とリング体を示す部分断面正面図、図4は同じくリング体と柄体の接続機構を示す部分平面図である。

【0008】これらの図1にあって1は金属、プラスチック等の可塑性材によって成形されたリング体であり、図にあってこのリング体1は円形のものとしてあるが、必要に応じて四角形、三角形、五角形等の適宜な形状に形成することができる。

【0009】この前記したリング体1には上端を外方に向けて屈曲させた複数のフック体2・2…が、上方への突設状態として一体に備えられている。このフック体2・2…にはリング体1の内側へ挿し入れられたプラスチック製の袋体3の開口縁が突き刺されて係止保持されることとなる。

50 【0010】また、この前記した袋体3の開口縁の外周

にガムテープ等をはじめとする開口閉塞用の接着封止テープ4を予め備えておくこと後処理が非常に容易に行えることとなる。

【0011】さらに、前記したリング体1には上方から軟性プラスチック等によって成形された蓋体5を着脱自在に被冠させることもできる。この場合、蓋体5は落とし蓋状態としてその外周面をリング体1の内周面に嵌めることもできるが、図3として示す場合は蓋体5の周縁下面にリング体1と嵌まり合う環状溝6を設けてある。この蓋体5はフック体2・2…の代替としても有用であるが、フック体2・2…と併用する場合、そのフック体2・2…の逃げ用孔を設けたり、フック体2・2…の代替とする場合、袋体3との連通透孔を端部に設けて地表の犬の糞を袋体3内へ通し込むことができるものとする。

【0012】また、リング体1の外周の一部には柄体7が、リング体1の直径方向と平面的に交叉する方向性をもって備えられている。この柄体7は特に素材の特定性はないが、長さの調整が自在となるよう釣り竿式に伸縮可能なものとなっている。

【0013】さらに、リング体1の一部にフランジ8・8を形成し、柄体7の先端に設けられたボール体9を挟持し、ネジ等の締結具10等によってフランジ8・8を締めると、ボール体9によって容易にユニバーサルな連接が可能となって水平方向のみに限らず柄体7のリング体1に対する角度を自在に変更することができる。

【0014】本実施に形態に係る犬の糞取り具は上記のように構成されている。その使用方法は長さや角度を合

わせた柄体7を持ってリング体1の縁で地表にある犬の糞を掻き取り、あるいは掬い取れば済み、糞はそのまま袋体3内に収められ、その袋体3の開口を閉塞し、持ち帰って廃棄処理すれば済みこととなっている。

【0015】

【発明の効果】本発明に係る犬の糞取り具は上述のように構成され使用される。そのため、使用者は屈み込んだり、袋体へ糞を投入する等の作業は一切不要となるばかりか、作業者の身長等に合わせて距離や角度の調整もでき、後処理も容易になし得るものとなっている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明を実施した犬の糞取り具を示す全体斜視図である。

【図2】袋体の装着状態を示す正面図である。

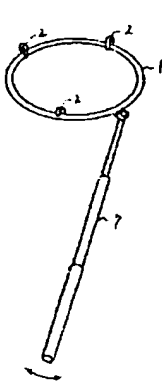
【図3】蓋体とリング体を示す部分断面正面図である。

【図4】リング体と柄体の連接機構を示す部分平面図である。

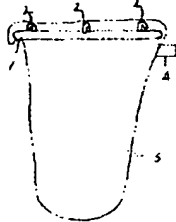
【符号の説明】

- 1 リング体
- 2 フック体
- 3 袋体
- 4 装着封止テープ
- 5 蓋体
- 6 環状溝
- 7 柄体
- 8 フランジ
- 9 ボール体
- 10 締結具

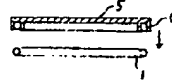
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

